週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.05.21－05.25

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

＊記事は東京発行・最終版

CHINA

5月21日（月）

■帝国電機が現地生産
大型の完全無漏洩ポンプ

帝国電機製作所は、モーター出力で220キロワットを超える超大型の完全無漏洩ポンプを中国で生産する。大連に専用工場を建設、2013年から製造。石油精製や化学プラントで大型の需要が高い。（1面）

■古河電工、超電導ケーブル検証
275キロボルト／2020年度実用化

古河電気工業は、中国で275キロボルト超電導ケーブルの試験を10月に始める。気中終端接続部、中間接続部を持つ高温超電導ケーブルを敷設し、性能検証。2020年度の実用化を目指す。（11面）

5月22日（火）

■ノリタケ、中国・タイで増産
研削・研磨工具／生産能力3倍

ノリタケカンパニーリミテドは、2014年3月期に、中国とタイで研削・研磨工具を増産する。夏にも稼働する両国の新工場を増強、生産能力を金額ベースで3倍の計45億円に引き上げる。（1面）

■グローリー、第3工場
紙幣整理機・レジ釣り銭機、倍増

グローリーは、蘇州の100%子会社に第3工場を建設し、生産能力を倍増する。紙幣整理機やレジ釣り銭機のユニット組み立てを行っている。6月に着工、2013年春に完成する。（6面）

川重と東芝が受注した車両「700T型」

■プリマハム、中国でハム生産
年産7000トン／頂新と合弁

プリマハムは、中国でハム・ソーセージの製造販売に乗り出す。中国と台湾の食品・流通最大手の頂新グループの康師傅方便食品投資・中国と合弁会社。新工場の年産能力は7000トン。（16面）

■浦和製作所、中国に進出
専用団地活用／ステアリング部品

浦和製作所は、日系の自動車部品会社専用の工業団地を活用して中国に進出する。新規受注した計測器部品を皮切りに主力のステアリング向けの切削部品などの製造を目指す。（27面）

5月23日（水）

■広東省にブレーキ部品工場
アドヴィックス／中国4カ所目

アドヴィックスは、広東省雲浮市にブレーキ部品工場を建設し、2013年12月に稼働する。広州市周辺の日系自動車メーカーに供給する。同社にとって中国4カ所目の工場となる。（5面）

■リチウム電池、年2割コスト減
パナソニック／中・韓製部材5割超

パナソニックは、民生用リチウムイオン二次電池を年率2割以上コストダウンする。中国、韓国製部材を5割超に高めるほか、中国での生産規模を拡大。2012年度の黒字化を目指す。（8面）

■電子商取引の事業者支援で提携
NTTデータ経営研・ドコモチャイナ

NTTデータ経営研究所は、ドコモチャイナと中国での電子商取引（EC）事業者支援で業務提携する。調査やコンサルティング、ECのプラットフォーム構築、運用を共同で提供する。（9面）

■ステンレス冷延製造で合弁
新日鉄住金ステンレス／年産20万トン

新日鉄住金ステンレスは、中国の四川西南不銹鋼、住友商事の2社と共同で江蘇省南通市にステンレス冷延製造・販売の合弁会社を設立する。年間生産量20万トン、売上高600億円を見込む。（11面）

■中国語の観光バスで道内巡る
日本旅行

日本旅行は、北海道を訪れる観光客に、バスツアーの設定や道産品の販売を手がける着地型専業旅行会社を設けた。中国語や英語など多言語のガイドに対応した観光バスで、観光地を巡る。（17面）

5月24日（木）

■中国の国家基準値クリア
ゴミ処分場汚水処理／住友精密工業

住友精密工業は、ゴミ処分場から発生する浸出水の分解処理で新技術を開発した。公共工事の統括機関から初めて中国の国家基準値をクリアしたと認定。CODを1リットル当たり約30ミリグラムに。（1面）

■車用コーティング剤を展開
中央自動車工業／アジアにも拡大

中央自動車工業は、自動車用コーティング剤の海外展開を始めた。独自開発した自動車用品も手がける。中国で専用ブランドを立ち上げ、他のアジア地域へも事業を拡大する。（5面）

■高速エレベーターを中国生産
三菱電機・日立製作所

エレベーター大手が、相次ぎ高速機の中国生産を打ち出した。三菱電機は上海の製造拠点で分速240メートル機以上の生産に向け準備。日立製作所は広州の拠点で同360メートル機までの生産を計画中。（8面）

上海の昇降機製造拠点（三菱電機）

■三井金属、セラミックスを製造
江蘇省に製販子会社／ろ過装置向け

三井金属は、江蘇省呉江市にセラミックスの製造・販売子会社を6月に設立する。中国でアルミ缶の需要が拡大、原料の異物を除去する溶湯ろ過装置向けセラミックスの需要増も見込める。（10面）

■関西企業－中国の購買力に期待
京阪神3会議所調べ／8割が取引

関西企業の約8割が中国とビジネス関係にあり、中国に期待する役割として約5割が「販売拠点（購買力）」を求めている。大阪、京都、神戸の3商工会議所がまとめた。（25面）

5月25日（金）

■会員、1000社突破
MECHATROL INK協会／中国急増

MECHATROLINK協会の会員が、1000社を突破した。モーションコントロールに関するオープンネットワーク環境の普及を促進。アジア地域で最大規模。中国企業の会員が急増。（9面）

■住設、中国で一貫施工
パナソニック／300店に拡充

パナソニックは、中国の住宅設備・建材事業を拡充する。2015年度までに内装施工販売店を25倍の300店に増やす。設計、施工、アフターサービスまでを一貫事業に力を入れる。（13面）

ASIA

5月21日（月）

■遠藤照明、LED照明タイ増産
栃木も増強／月産60万台

遠藤照明は、2013年中にLED照明の生産能力を2倍の月産60万台に引き上げる。タイ工場の生産ラインを増設するほか、栃木工場でも直管蛍光ランプ型LED照明の生産体制を整備する。（11面）

■日特建設、ジャカルタ事務所
ODAのインフラ／日系工場建設

日特建設は、初の海外拠点としてインドネシアにジャカルタ駐在員事務所を2012年度に開設する。日本のODAによるインフラ整備や日系工場建設の基礎工事を、サブコンとして受注する。（19面）

5月22日（火）

■台湾で石炭火力2基受注
1600億円／IHI・東芝・住商など

IHI、東芝、住友商事、台湾のエンジ会社・CTCIコーポレーションは、台湾の電力会社から出力80万キロワットの超々臨界圧石炭火力発電所2基の建設を受注した。受注額は約1600億円。（1面）

■エイチワン、タイ南部に土地
洪水リスク対策・拡販

エイチワンは、タイで今後の拡販と洪水リスク対策のため、7月までにチョンブリ県に約5万3000平方メートルの土地を取得する。利用方法は需要や受注動向を見ながら決定する。（5面）

■蛇の目、印に低価格ミシン
海外シェア30%目指す

蛇の目ミシン工業は、インド・南米向け低価格ミシンの投入などで、現在約26%の海外シェアを30%に。ボリュームゾーン向けの低価格品だけでなく、ロシアに刺しゅう専用機を投入。（6面）

■ベトナムでグラスライニング
神鋼環境ソリューション

神鋼環境ソリューションは、ベトナム・ロンドウック工業団地に、グラスライニング製造工場を建設する。反応機や貯槽、熱交換器を生産する。日本に出荷、東南アジアでの販売も視野。（6面）

■ブルネイでネット接続提供
NTTコム

NTTコミュニケーションズは、ブルネイの通信インフラ構築と運営を担うブルネイ・インターナショナル・ゲートウェイと国際インターネット接続サービスで提携した。（10面）

■インドネシアに不織布資材工場
フジコー／東南ア重点攻略

フジコーは、インドネシアに工業用の不織布・フェルト資材工場を建設する。2014年4月に本格稼働する。現地に営業部隊も配置。成長が著しい東南アジア市場を重点攻略する。（11面）

■ベトナムで家具用ボード
住友林業／年25万㎥

住友林業は、ベトナムのロン・アン省で家具の主要原材料であるパーティクルボード（PB）の生産を始めた。製材工場や果樹の廃材を活用し、厚さ6ミリ－35ミリメートルのPBを年25万立方メートル。（15面）

■伊勢湾海運、タイに新倉庫
12月稼働／自動車関連に照準

伊勢湾海運は、12月をめどにタイ・チョンブリ県に新倉庫を建設する。タイでは自動車関連企業が増産するなど、倉庫需要が旺盛で、既存3倉庫がフル稼働の状態のため。（16面）

■マレーシアの石油精製プロ調査
伊藤忠／国営ペトロナスと共同

伊藤忠商事は、マレーシア国営石油会社ペトロナスと石油化学プロジェクトの共同事業化調査を行う覚書を結んだ。マレーシア南部の石油精製から石油化学までの一貫生産プロジェクト。（16面）

5月23日（水）

■レアメタル開発－未知数
ミャンマー投資に慎重姿勢

ミャンマーの民主化で、世界的に投資意欲が高まっている。日本も円借款を再開。同国はレアメタル産出国。だが大手商社、非鉄金属業界は慎重。埋蔵量が正確に分からずリスクが大きい。（3面）

■ジェトロが貸しオフィス
ミャンマー進出中小向け

日本貿易振興機構は、ミャンマーへの進出を検討している中堅・中小企業などにレンタルのオフィスを提供するサービスを今秋をめどに始める。ヤンゴン事務所内に整備する。（3面）

■ベトナムでドア生産3倍
文化シヤッター／年1万5000枚

文化シヤッターは、今秋をめどに、ベトナム工場で製造するドアの年間生産能力を1万5000枚と約3倍に引き上げる。日系企業を中心にドアの需要が増えている。シャッターの受注も好調。（3面）

■台湾製パイプベンダー投入
ユーアイ・エンジ／3割低価格

ユーアイ・エンジニアリングは、低価格のパイプベンダーを発売した。台湾の穎霖機械工業製で日本メーカー製に比べ価格は約3割低くした。自動車や2輪、給湯機器メーカーなど向け。（7面）

■インドでTVシェア15%に
パナソニック／新製品30機種投入

パナソニックは、2012年にインドで、薄型テレビのシェアを10%弱から15%に引き上げる。「スマートテレビ」など新製品30機種を投入。人気のコンテンツを豊富に視聴できる機能を付加。（8面）

■近鉄エクス、ジャワに営業所
繊維・家具・木工品の集積地

近鉄エクスプレスのインドネシア現地法人は、中部ジャワ・スマラン地区に営業所を開設した。同地区は繊維産業、家具・木工品産業の一大集積地で、海上貨物輸送の拡大が見込める。（17面）

■ミャンマー最大手行に技術協力
三井住友銀行／無償で人材育成

三井住友銀行は、ミャンマー最大手・カンボーザ銀行と技術支援のための覚書を締結した。邦銀が同国の民間銀行と覚書を締結するのは初めて。銀行経営の助言や人材育成に無償で協力。（19面）

■アジア軸に国際戦略
愛知県／来春まとめ

愛知県は、アジアを軸とした国際戦略を検討する組織「あいち国際戦略会議」を設置した。「世界と闘える愛知」へ実効性のある戦略を2013年3月をめどにまとめる。（25面）

5月24日（木）

■ベトナム石炭火力プロ受注
東芝・双日／総額664億円

東芝と双日は、韓国の大林産業と共同で、ベトナム北部の石炭火力発電所プロジェクトを受注した。出力120万キロワットのプロジェクトで、3社の受注総額は約8億3000万ドル（約664億円）。（6面）

■宇部興産の現法と資本提携
タイ石油化学大手IRPC

タイ石油化学大手IRPCは、宇部興産のタイ現地法人ウベ・ケミカル（アジア）の株式25%を53億バーツ（約134億円）で取得する。業務提携してきたが事業拡大と関係強化へ資本提携する。（10面）

■タイに東南ア統括拠点
戸田建設／スタッフ部門集約

戸田建設は、タイに東南アジア事業の統括事務所を9月にも設置する。設計、積算、品質管理などのスタッフ部門をタイに集約し、間接業務の効率化とともに技術レベル向上を狙う。（13面）

■韓国・大企業の海外展開支援
三菱東京UFJ銀行／専門組織

三菱東京UFJ銀行は、サムスン電子など韓国のグローバル企業を主対象にした海外展開支援ビジネスに本格参入する。日本と韓国の両拠点に専門的な支援組織を発足する。（19面）

■インドネシア株、個別情報拡充
SBI証券／サイトで提供

SBI証券は、インドネシア株式取引で個別銘柄の投資情報を拡充した。同社が取り扱うインドネシア株式の個別銘柄について、会社概要や財務の詳細を外貨建て商品取引サイトで提供。（19面）

台湾・グレタイ市場のゴードン・シュー・チェン会長（右）と東証の斉藤惇社長

5月25日（金）

■台湾・グレタイ証券市場と協定
東証／金融商品の開発・上場

東京証券取引所は、台湾のグレタイ証券市場と包括的な協力協定を締結した。金融商品の開発・上場を進めるほか、双方の地域におけるプロモーション活動やマーケティング活動でも協力。（17面）

■ドコモ、国際標準化を狙う
機器間通信基盤で連携

NTTドコモは、世界中の通信回線を統一できる機器間通信（M2M）基盤で、アジア・太平洋の11社が加盟する携帯電話事業者の連合体や欧米の通信事業者と契約し、国際標準化を狙う。（1面）

■台湾新幹線を48両受注
川重・東芝／190億円

川崎重工業と東芝は、台湾高速鉄路股份有限公司から高速鉄道車両「700T型」4編成48両を共同受注した。受注額は約190億円とみられる。2015年開通の「台北－南港」などに導入。（2面）

■摩擦圧接機、新興国向け戦略機
日東制機／中・台・韓に照準

日東制機は、摩擦圧接機で新興国向け低価格戦略機を投入する。接合能力は軟鋼丸棒で直径10ミリ－30ミリメートル、価格は4割減。中国や台湾、韓国を中心に、中国販売子会社や商社を通じて販売。（9面）

■リケンテクノス、生産50%増
タイ・インドネシアに新工場

リケンテクノスは、2013年までにアジアで、樹脂原料の生産能力を50%増の年15万トンに引き上げる。タイ、インドネシアで新工場を稼働。東南アジアで樹脂原料の現地供給体制を整える。（12面）

■松島機械、タイに現法
マイクロ波レベル計／アジアで攻勢

松島機械研究所は、2017年3月期までに海外売上高を約20%から、50%に引き上げる。東南アジア初の現地法人をタイに設立し、アジア全域でマイクロ波レベル計を主力に拡販する。（23面）

● ひと ●●●●●●●●●●●●●●●●

ノウハウ詰め込む

「台湾や中国との連携には設計技術者の一層のレベルアップが必要になる」と、トランスメーカーの北川電機社長の北川秀秋さん。台湾メーカーとの業務提携を機に、海外拠点での生産を検討する。「設計段階で現場に上手に作らせるノウハウを詰め込む」。（21日＝16面）

●●●●●●●●●●●●●●●●●●

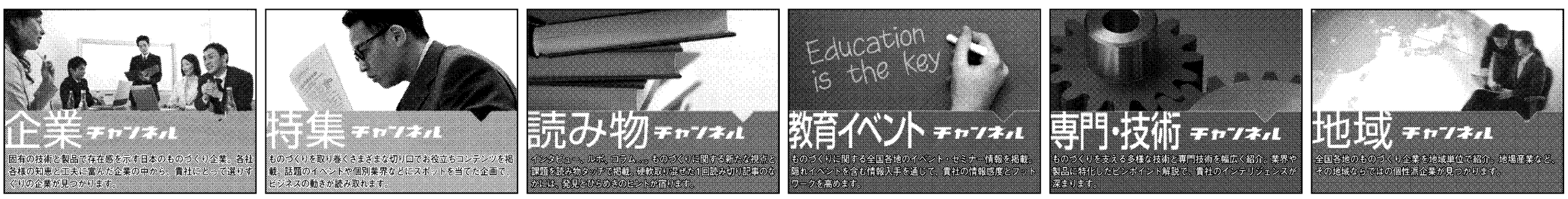
日本同様、多様化が課題

「インドネシアやマレーシアからのパイプラインだけには頼れない。新しい調達先が必要」と、シンガポール政府エネルギー市場監督庁長官のチー・ホン・タットさん。「電力の大半をガスに頼っている」だけに日本同様、エネルギーソースの多様化が喫緊の課題。（25日＝13面）

●●●●●●●●●●●●●●●●●●

パートナー発掘

「アジアの成長を取り込む」と事業拡大の方向性を示すのは日本アジア投資社長の松本守祥さん。成長が見込めるベンチャー企業に資金を供給する投資事業を展開。「顧客を含めて、共同事業に取り組んでいけるパートナーの掘り起こしを加速させる」と意欲的だ。（25日＝17面）



mono ch

ものづくりビジネスに関するお役立ちコンテンツを集めた
日刊工業新聞社が運営する情報サイトです。

ものづくりチャンネル
ものづくりチャンネル　検索

日刊工業新聞社　電子メディア事業室　〒103-8548　東京都中央区日本橋小網町14-1　TEL. 03-5644-7090

http://mono-ch.nikkan.co.jp/m/　mono-ch@nikkan.co.jp